

[問い1] 今までの振り返りは質問かですか

- 1) 今の会社は勤続35年と伺いました。何故この会社に入社したので何か?
- 2) 社内研修を受講させた会社に対して、安藤さんはどう思われますか?
- 3) 大学卒業後、現在まで転職された今の会社で働いているのは、何故ですか?
- 4) 普段、若い従業員と、どのような会話をされているのでしょうか?
- 5) 先月受講された社内研修についてどのようなお話しされましたか?
- 6) 定年後のセカンドキャリアについて、ご家族は何かおっしゃると思えますか?

[問い2] 良い点と悪い点 (各2行)

良い点

事例IのCCt8 (相応しい/相応しくない)

理由: 定年まであと3年で「これからどうしようかな」と研修を機に思い始め、相談者の気持ちに寄り添い、信頼した上で相談者の仕事に対する考えを伺え、

悪い点

事例IIのCCt9 (相応しい/相応しくない)

理由: 相談者の気持ちを理解したかゆに、相談者が口ごもった質問に対して「それはどういう事ですか。差しかえなければお話し下さい」とお伝えした点。

[問い3] CLの主訴

冒頭では「定年まであと3年で、これからどうしようかな」と思い相談に求助されたとのことでした。お話しを伺っていると、先月受講した社内研修で自身の今のキャリアに振り返った時、自分のキャリアについて中長期の視点が無かったことに気づかれた。また、会話の中で「若い従業員について(我々と異なり)プライベートを大切にできる」等の発言もあり、仕事観も考慮したセカンドキャリアが主訴であった。

[問い4] 今後の展開 (今後どう進めますか)

「(定年に向けて)これからどうしようかな」と考え始めた相談者の気持ちに寄り添い、信頼関係を構築する。その上で(1) 社内研修の内容も言語を改めて現在までの自身のキャリアの振り返りを行う。また相談者が希望される、自身の強みや得意なことや好きなこと、再雇用以外の新しいキャリアについて一歩ずつ考え情報提供を行う。(2) 相談者の仕事観大切にしていること、若い従業員に対して感じていることなどを伺い、自身の仕事観の内容を伝え、最終的に相談者の最適なセカンドキャリア選択を支援する。